

常陸大宮市の面積は348.38km<sup>2</sup>で、茨城県の面積の5・7%を占めるなど広範ですが、市内の移動手段は、自家用車がほとんどで、車を運転しない方は移動が限られている状況です。

そこで市では、年齢を問わず、誰もが安心して市内を移動できるよう、新市まちづくり計画でも重点事業の一つとなっている、市内循環交通システムの整備をすすめています。

## 市内循環交通システム市民アンケート結果報告

# 地域と人をつなぐ「市民の足」の整備に向けて…

整備にあたって、この交通システムが、身近な「市民の足」として、皆さんにとって利用しやすいものとなるよう、ニーズ等の把握を目的にアンケートを行いました。

今月は、その結果をご報告します。



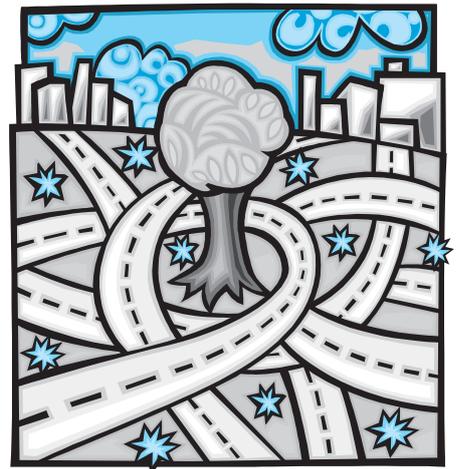
### アンケートの概要

#### 目的

市内循環交通システム検討の基礎資料として、市民の皆さんの外出に対する満足度・意向、バスの利用状況、移動ニーズ等について、アンケートを実施。

#### 対象者及び調査方法

- 対象者：住民基本台帳を基に市全域から約2,000世帯を抽出。
- 配布・回収方法：郵送
- 調査票の発送・回収期間：8月11日(発送)～8月25日(回収)
- 回収状況：回収票数：693票  
回収率：34.7%



## アンケート

### 結果の概要

集計結果からみると、現在、バスの利用は通院や買い物での利用が主で、月に1～3回程度と少ない利用状況です。

また、外出するためには、自分の運転や家族の送迎など、多くの方が自動車を利用していらっしゃいます。

外出に対して、過半数の世帯が、通院や買い物で家族全員が十分に外出できると満足している一方、3割の世帯が、家族のうち誰かが十分に外出できていないと感じており、その年齢層は60歳以上ということでした。

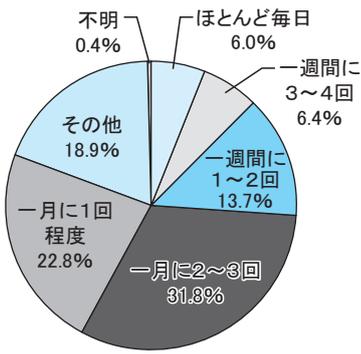
新たな交通機関ができた場合も、やはり病院やショッピングセンターに行くために利用したいというニーズが高く、年齢層でも、自分での移動手段が少ない、10歳代や60歳以上の方の要望が強いことが分かりました。

市内循環交通システムは現在、これらアンケート結果などを参考に、市内循環交通システム検討委員会において検討しています。検討内容についても、また次回第2報告したいと思います。

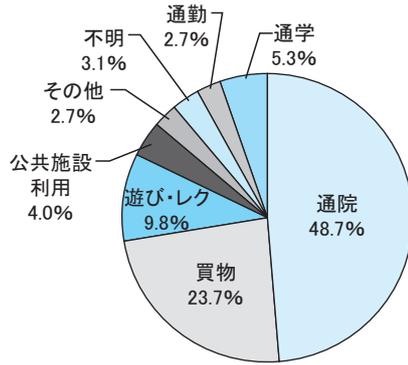
今後とも市内循環交通システムの構築にご協力をお願いします。

次のページでは、このほか詳しい集計結果をグラフで表しています。

■利用回数

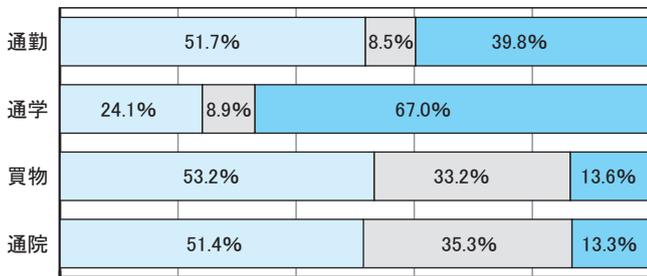


■利用目的



・現在バスを利用する人の利用目的は、通院が48.7%、買物が23.7%となっている。  
 ・利用回数は、「1月に2~3回」が31.8%、「1月に1回程度」が22.8%と過半数（54.6%）で利用回数が少ない状況となっている。1週間に3回以上の利用は12.4%を占める。

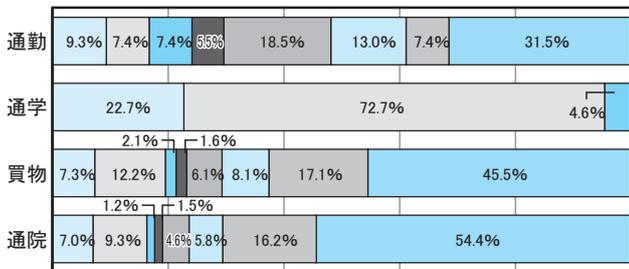
■外出に対する満足度



□十分に外出できている(家族全員) □十分に外出できない人がある  
 ■無回答

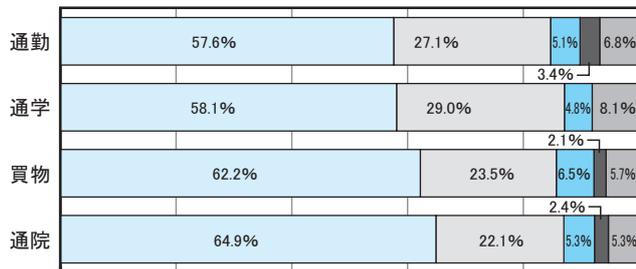
・外出の満足度は、通学を除く各目的で「十分に外出できている(家族全員)」が過半数を占めるが、一方で買物、通院で約3割の世帯が「十分に外出できていない人がある」と回答している。  
 ・「十分に外出できていない人がある」と回答した世帯でその人数を尋ねると、「1人」、「2人」という回答の合計が各目的で8割以上を占めている。また、買物、通院で、60歳代と70歳以上の合計がそれぞれ62.6%、70.6%と高く、十分に外出できていないと感じている。  
 ・現在の交通手段は、自動車(自分で運転)が35.9%、家族等の送迎が25.8%と自動車利用が6割を占めている。

■十分に外出できていない人の年齢



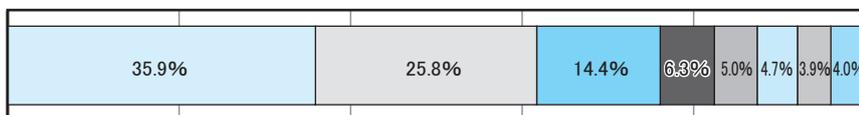
□10歳未満 □10歳代 □20歳代 □30歳代  
 □40歳代 □50歳代 □60歳代 □70歳以上

■十分に外出できていない人の人数



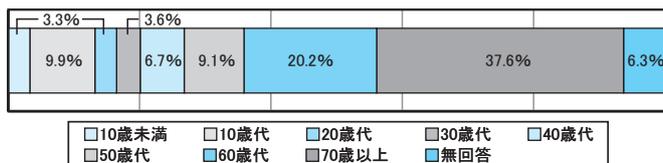
□1人 □2人 □3人 □4人以上 □無回答

■現在利用している主な交通手段



□自動車(自分で運転) □家族等の送迎 □自転車・バイク □路線バス  
 □患者輸送車等 □タクシー □徒歩 □その他・無回答

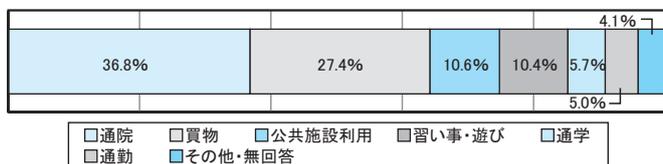
■ 利用される方の年齢



【利用される方の年齢】

60歳代、70歳以上が57.8%と高くなっている。そのほかでは、10歳代が9.9%となっている。

■ 利用目的



【利用目的】

通院が36.8%、買物が27.4%と多く、習い事・遊び、公共施設利用はそれぞれ1割程度となっている。

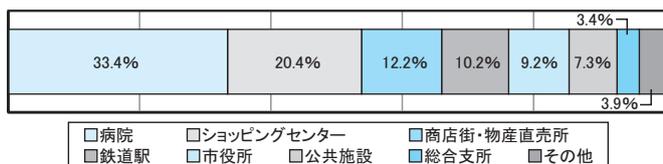
■ 行き先(地域)



【行き先(地域)】

各地域から大宮地域への移動ニーズが高い結果となっている。

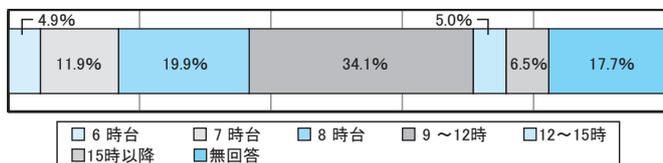
■ 具体的な目的地



【具体的な場所】

利用目的に対応するように病院、ショッピングセンターへの移動ニーズが高く、次いで商店街・物産直売所、鉄道駅となっている。

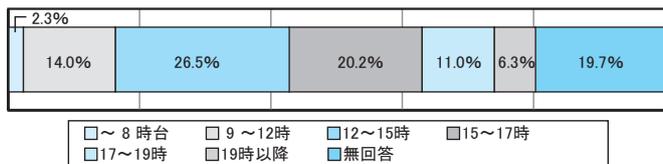
■ 行きの利用時間



【行きの利用時間帯】

9~12時が最も多い結果となっている。

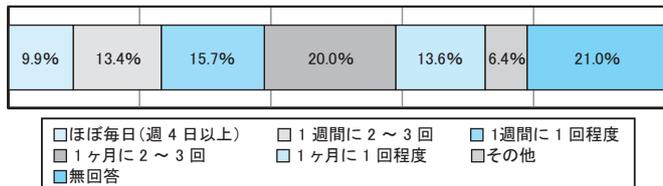
■ 帰りの利用時間



【帰りの利用時間帯】

12~15時が26.5%、15~17時が20.2%と12~17時で46.7%となっている。

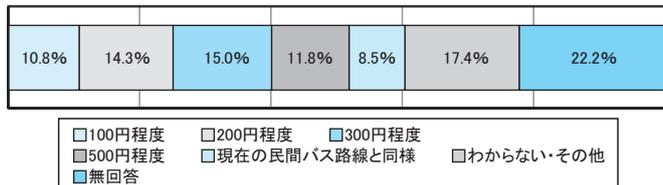
■ 利用頻度



【利用頻度】

新たな交通システムが出来たときの利用頻度は1ヶ月に2~3回が20.0%、1週間に1回程度が15.7%、1ヶ月に1回程度が13.6%という結果となった。

■ 支払可能な運賃



【支払い可能な運賃】

300円程度が15.0%、200円程度が14.3%、500円程度が11.8%と、利用に際して一定の負担に理解を示した結果となっている。